



松山市内の国道196号で自転車社会実験を開始します ～自転車レーンにより歩行者と自転車の通行を分離～

歩行者と自転車の安全・快適な通行空間の確保を目的として、自転車レーンの設置により、歩行者と自転車を分離する社会実験を開始します。(別紙参照)

期 間：平成22年1月12日(火)～2月21日(日)
場 所：松山市本町三丁目交差点～札ノ辻交差点(約250m)
※上り線(お堀側車線)

実験内容

- 現在の広幅員の路肩をカラー化(緑色)し、自転車走行空間(1.75m)として仮設整備
 - ・自転車レーンは南方向への一方通行(北方向へは従前どおり歩道を徐行通行)
 - ・自動二輪車に配慮し、自転車レーンに隣接する車線幅員を3.75mに拡幅
- 通行実態の調査や利用者アンケート等の実施

道路利用者及び沿線住民の皆さまには、実験実施に対するご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

平成22年1月7日

国道196号自転車走行空間社会実験協議会

国土交通省松山河川国道事務所、愛媛県警察本部、松山東警察署、愛媛県、松山市、
有識者(東京大学羽藤准教授、愛媛大学倉内講師)、NPO法人まちづくり支援えひめ、
本町3丁目-1自治会、本町3丁目-2自治会

本施策は、四国圏広域地方計画「No. 5 圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト」の取組に関連します。

【問い合わせ先】

[事務局]国土交通省 四国地方整備局 松山河川国道事務所

事業対策官 川田 昭彦 (かわだ あきひこ) (内線208)
○計画課長 梶田 雄樹 (ますだ ゆうき) (内線261)
道路管理第二課長 黒木 賢二郎 (くろき けんじろう) (内線441)
○: 主な問い合わせ先 Tel: 089-972-0034 (代表)

実施期間

平成22年1月12日(火)～2月21日(日)

実施場所

国道196号 松山市本町三丁目交差点～札ノ辻交差点



社会実験の目的

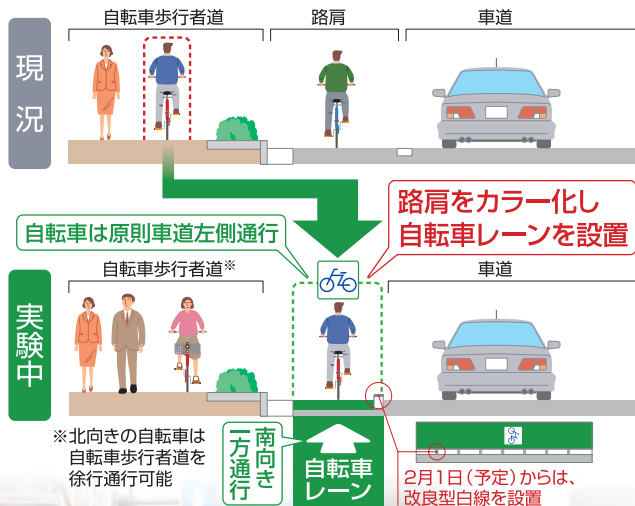
歩行者と自転車との接触事故などを防止し、歩行者と自転車の安全で快適な通行空間の確保を図るため、松山市内の国道196号において、自転車レーンを設置する社会実験を実施し、その効果を検証します。

社会実験の実施内容

実験区間の路肩をカラー化し、自転車の走行空間として仮設整備します。自転車走行空間(幅員1.75m)と車道との境界に白線を設置し、2月1日(予定)からは、車両が踏むと音の出る凸凹のある改良型白線を設置します。

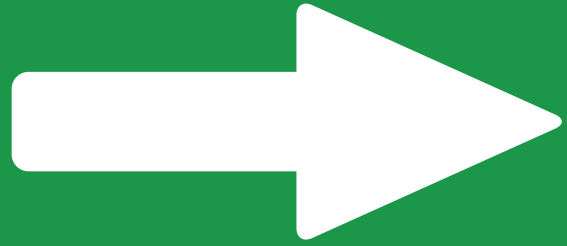
実験中には、通行する皆様のご意見を把握するために調査を実施します。

ご理解とご協力をお願いします。



イメージ図

自転車利用者と歩行者を分離する 社会実験のお知らせ



平成22年

自転車レーン 1月12日(火) から設置

196 本町三丁目交差点
～ 札ノ辻交差点



国道196号自転車走行空間社会実験協議会

お問い合わせ

[事務局] 国土交通省 松山河川国道事務所

〒790-8574 松山市土居田町797番地2 TEL.089-972-0415 FAX.089-972-8117

<http://www.skr.mlit.go.jp/matsuyam/index.html>